

鳥取県立美術館

インフォメーション・パッケージ

本資料は、現時点における鳥取県立美術館(仮称)整備運営事業の検討状況をお知らせするための資料であり、
本資料に記載のある内容は今後変更される可能性があります。

平成31年3月19日版

目次

1. 鳥取県立博物館の基本情報

- ・鳥取県立博物館の施設概要
- ・鳥取県立博物館の立地
- ・鳥取県立博物館の平面図
- ・鳥取県立博物館の組織・事業
- ・鳥取県立博物館の利用者数・入館料
- ・鳥取県立博物館のプログラム別利用者数

2. 鳥取県立美術館(仮称)に係る情報

- ・美術館の検討経緯
- ・美術館の設置に係る基本的な考え方
- ・美術館の目的・コンセプト
- ・美術館に必要な機能と主な事業
- ・美術館の立地・施設概要
- ・美術館の浸水想定
- ・美術館の建設に係る日影ラインの検討
- ・建設予定地のインフラ
- ・美術館の概要
- ・美術館の収蔵予定品
- ・美術館の代表的なコレクション
- ・(参考)鳥取県立博物館美術部門のコレクション概要(寄託・継続借用除く)
- ・美術館の収蔵環境
- ・事業実施スケジュール(予定)

3. 鳥取県立美術館(仮称)の基本スキーム

- ・本事業における官民連携の基本的な考え方
- ・美術館運営における実施体制(イメージ)
- ・サービス対価の算定に関する基本的な考え方
- ・美術館の運営に関する情報

4. 建設予定地の周辺環境

- ・鳥取県の人口
- ・県中部地区の人口
- ・県中部地区の環境
- ・倉吉未来中心施設別利用状況(平成26～29年度)
- ・美術館へのアクセス
- ・観光に係る情報
- ・(参考)文化芸術の鑑賞に関する統計

5. 鳥取県立美術館(仮称)に係る財務情報

- ・鳥取県立博物館の決算情報
- ・美術館の整備費用及び利用見込み者数に関する情報

1. 鳥取県立博物館の基本情報

鳥取県立博物館の施設概要

概要

設立	昭和47(1971)年10月1日
構成	総合博物館 (自然・人文・美術の3分野)
所在地	〒680-0011 鳥取県鳥取市東町二丁目124番地 電話 0857-26-8042 ファクシミリ 0857-26-8041 E-mail hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp
開館時間	9:00～17:00
休館日	毎週月曜日(原則) 国民の祝日の翌日 ※月曜日が祝日の場合は翌平日が休館 年末年始(12月29日～翌年1月3日) ※ただし企画展開催中は無休(原則)
所蔵品数	159,395点(平成29年3月31日時点) うち 美術部門 8,864点

規模

構造 (本館)	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上1階 地上2階 一部3階
面積 (本館)	敷地面積 14,228㎡ 建築面積 3,576㎡ 延床面積 9,699㎡ 地階 2,668㎡ 1階 3,623㎡ 2階 2,606㎡ 3階 706㎡ 屋上階 58㎡ 屋外倉庫(別棟) 38㎡

主要設備

- ① 空気調和設備(温湿度調整)
- ② 収蔵庫、常設特別展示室、炭酸ガス消火設備
50kgボンベ 112本
- ③ 予備発電設備 6,600V・250KVA
- ④ エレベータ設備
人荷用:定員59名、積載荷重3,900kg 1基
乗用:定員11名、積載荷重750kg 1基

鳥取県立博物館の立地



交通アクセス

JR鳥取駅からバス

砂丘・湖山・賀露方面行「西町」下車 約400m

市内回り岩倉・中河原方面行「わらべ館前」下車 約600m

100円バス「くる梨」緑コース「仁風閣・県立博物館」下車 すぐ
ループ麒麟獅子「鳥取城跡」下車 すぐ

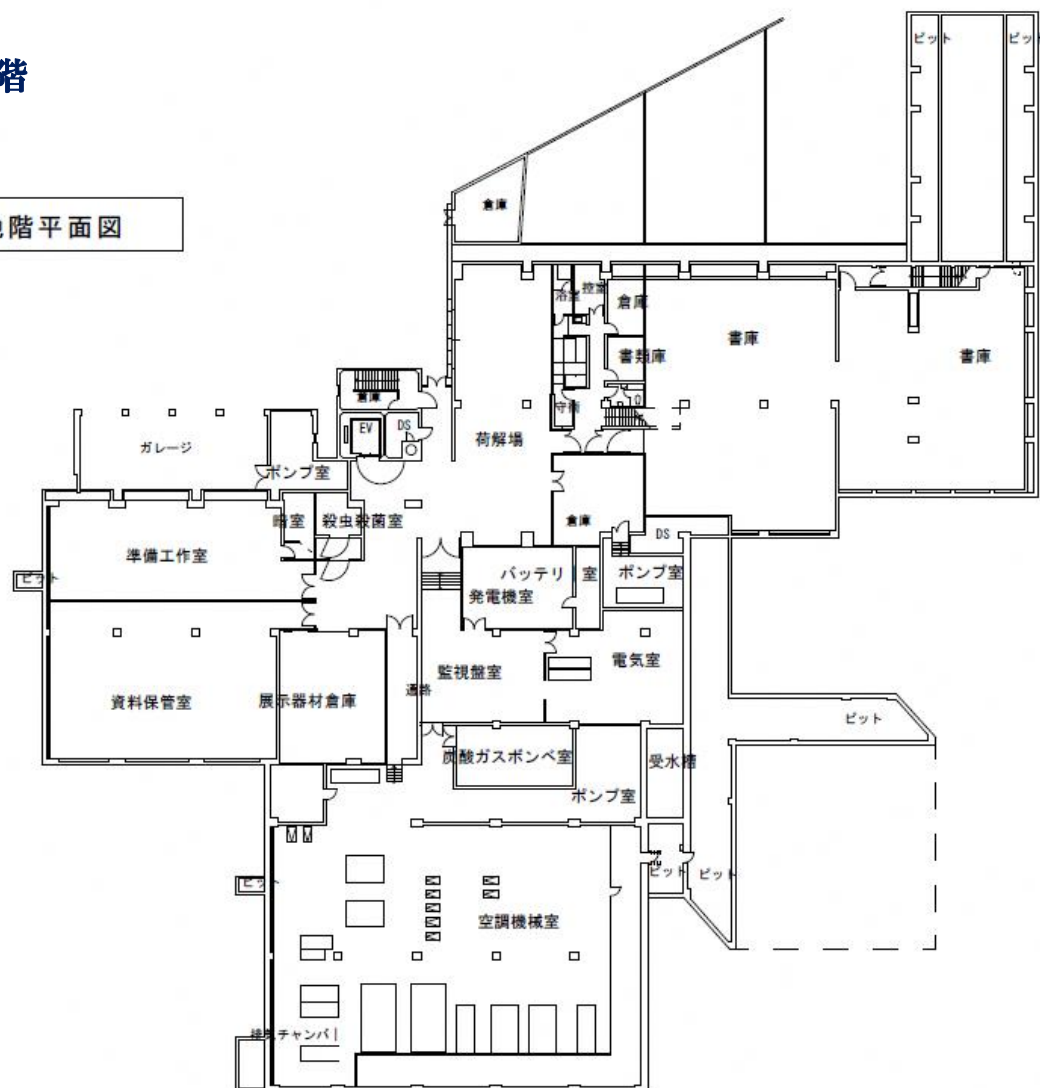
駐車場

敷地内 21台

鳥取県立博物館の平面図①

地下1階

地階平面図

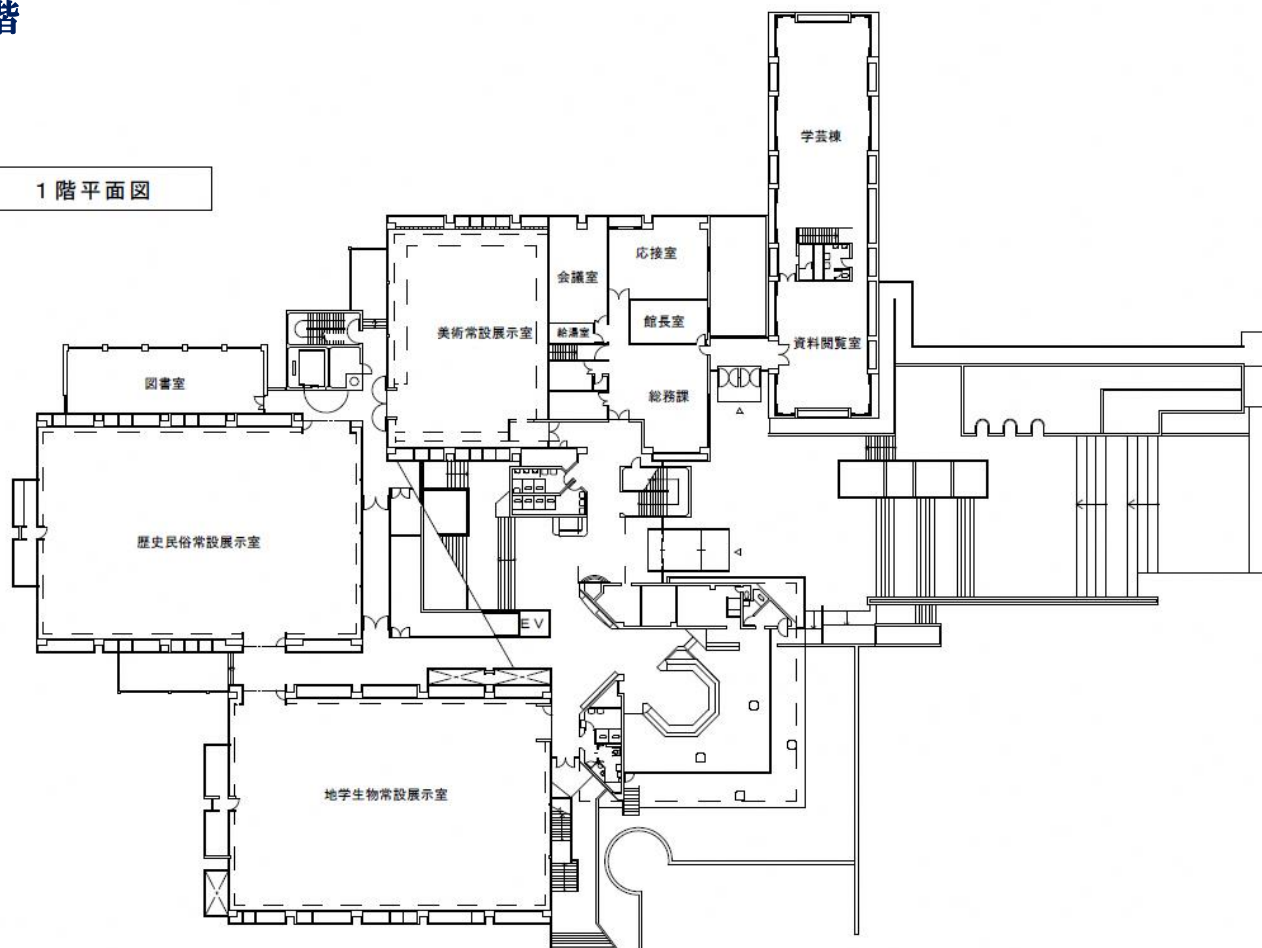


資料保管室	217m ²
書庫(2)	496m ²
展示器材倉庫	97m ²
準備工作室	159m ²
倉庫(2)	82m ²
荷解場	99m ²
暗室	13m ²
監視盤室	118m ²
発電機室	71m ²
電気室	67m ²
空調機械室	727m ²
炭酸ガスボンベ室	43m ²
ポンプ室	50m ²
守衛	31m ²
書類庫	10m ²
控室	9m ²
トイレ	5m ²

鳥取県立博物館の平面図②

1階

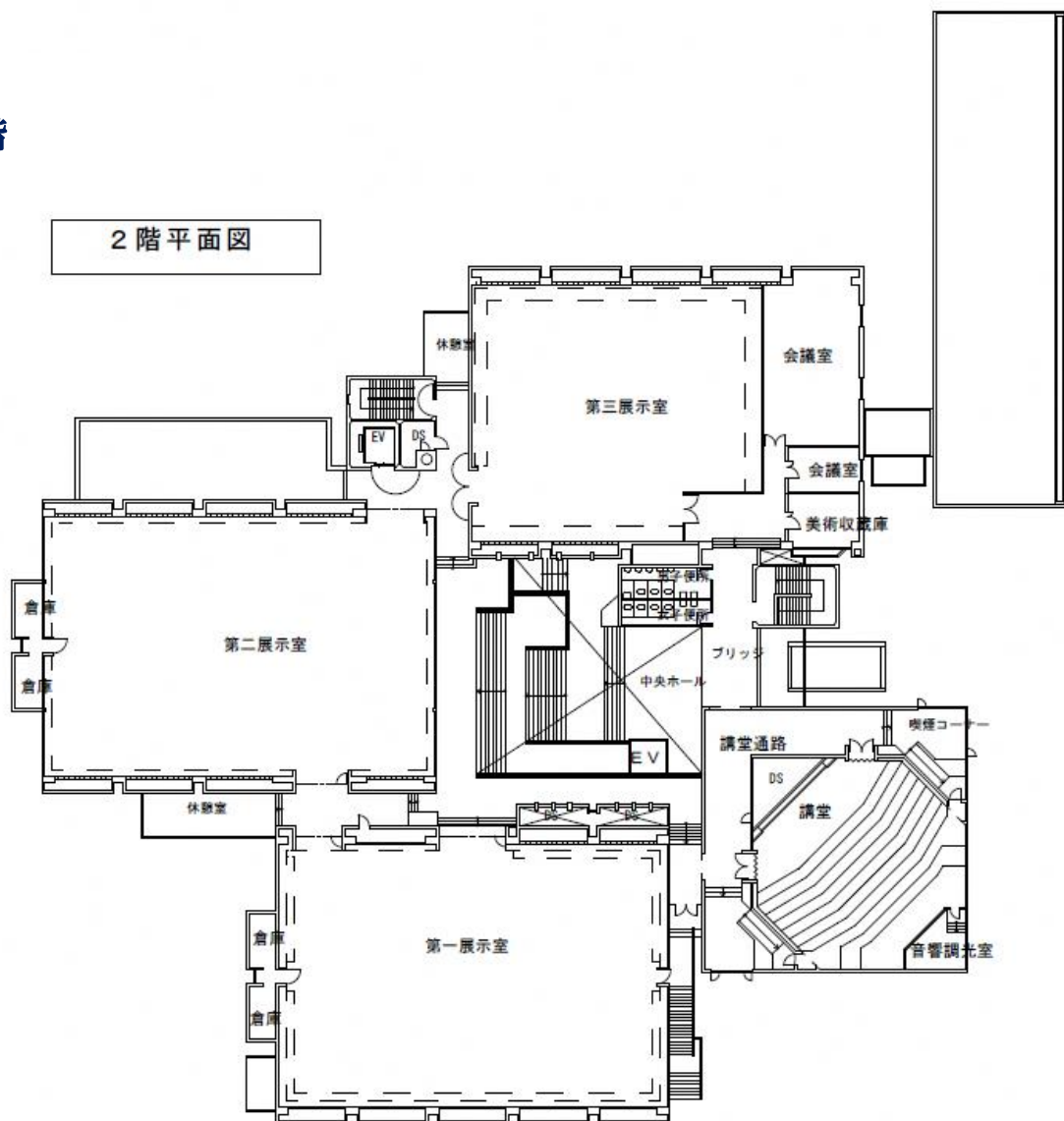
1階平面図



地学生物常設展示室	515m ²
歴史民俗常設展示室	515m ²
美術展示室	260m ²
喫茶・休憩室	182m ²
休憩室(2)	66m ²
応接室	60m ²
館長室	26m ²
総務課	68m ²
学芸棟	170m ²
資料閲覧室	111m ²
図書室	108m ²
会議室	50m ²
書類庫	10m ²
授乳室	14m ²
倉庫(階段下)	110m ²
展示室倉庫(2)	40m ²
トイレ(2)	49m ²

鳥取県立博物館の平面図③

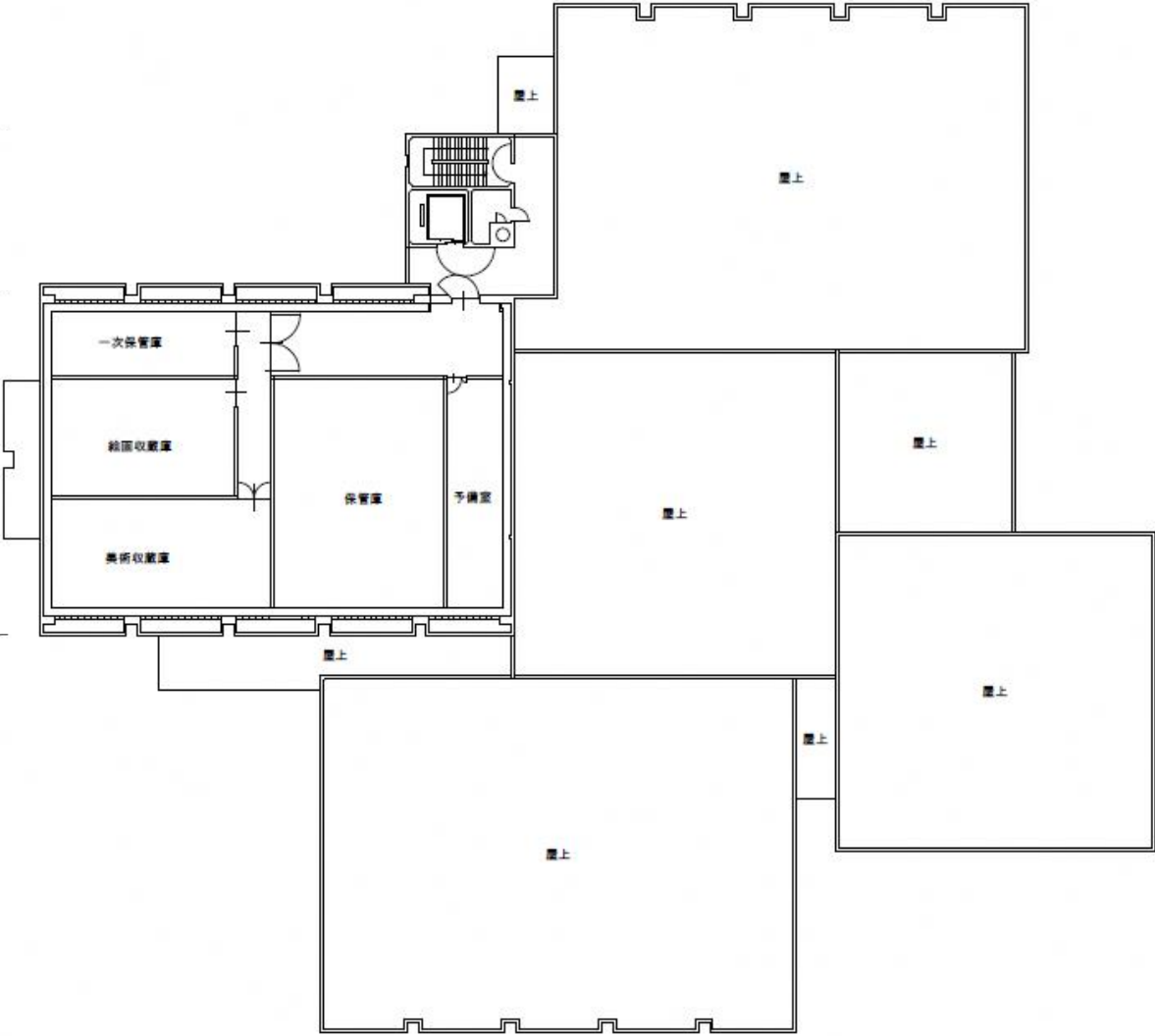
2階



第一展示室	515m ²
第二展示室	515m ²
第三展示室)	374m ²
講堂・音響調光室	206m ²
会議室・小会議室	107m ²
美術収蔵庫	22m ²
展示室倉庫(2)	40m ²
休憩室(2)	66m ²
トイレ	30m ²

鳥取県立博物館の平面図④

3階

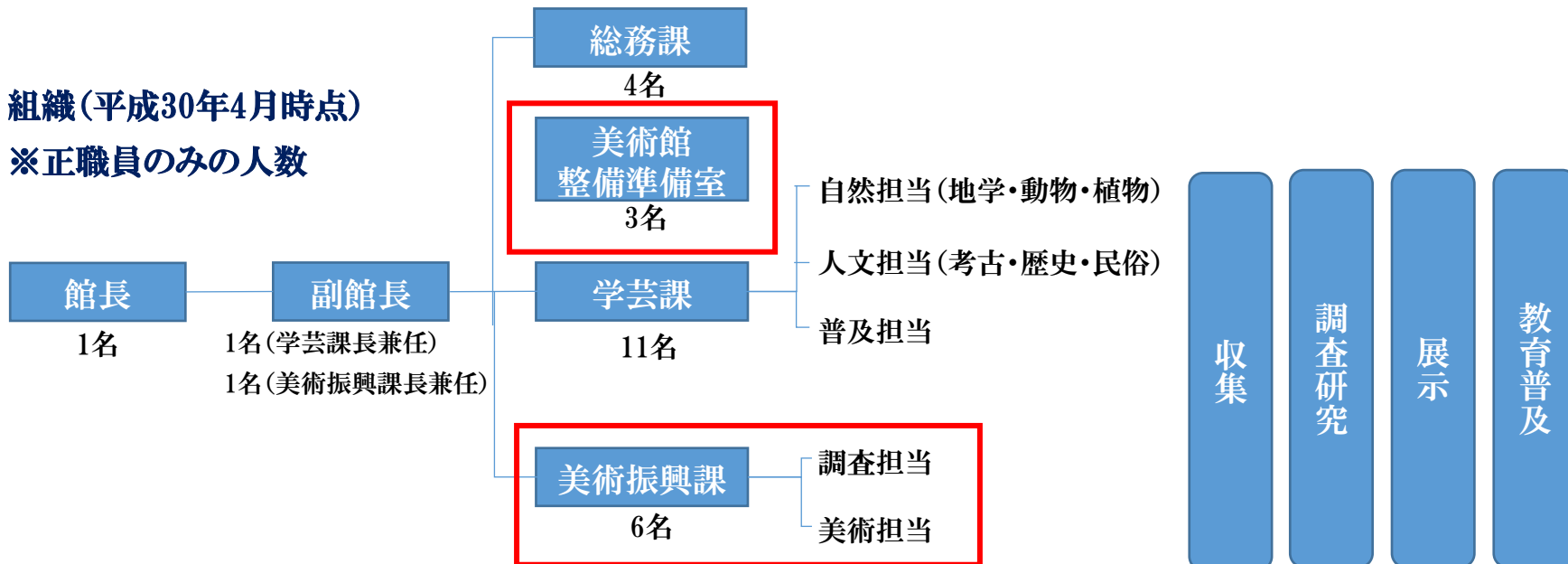


収蔵庫	258m ²
保管庫	172m ²
予備室	60m ²

鳥取県立博物館の組織・事業

組織(平成30年4月時点)

※正職員のみ的人数



- 館内組織のうち、美術館整備準備室と美術振興課が、新美術館の設置検討に主として関係する部署である。

美術振興課の事業

事業分類	事業内容	実施事業
収集	作品の購入、寄贈・寄託受入	同左
調査研究	鳥取県に関連した美術資料、作家や作品等に関する調査研究	調査研究・研究報告等の発行
展示	常設展示・特別展の企画	同左
教育普及	移動美術館、学芸員派遣、教員向けイベント、普及講座・講演会の実施	県立博物館所蔵美術品展、派遣講座、セミナー&トーク、ギャラリートーク、ワークショップ、アートシアター、特別講演会など

鳥取県立博物館の利用者数・入館料

利用者数(平成29年度実績)

県立博物館本館									
常設 展示	企画展	普及活動		研究 相談	小計	許可利用			合計
		館内	館外			展示室	講堂・ 会議室	小計	
33,764	31,214	〔627〕 3,092	5,897	597	〔627〕 74,564	22,736	1,740	24,476	〔627〕 99,040

※本館：

〔 〕は常設展・企画展におけるギャラリートーク参加者数(内数)であり、記載欄においては外数(常設展又は企画展の入館者数中に含まれる。)

入館料

常設展	一般(団体:20名以上の場合)	180円(150円)
	当館主催の企画展等をご覧の方が同日に併せて常設展を観覧される場合	無料(減免)
	当館主催以外の有料貸館展覧会をご覧の方が同日に併せて常設展を観覧される場合(団体:20名以上の場合)	90円(70円)
企画展(当館主催・実行委員会形式等)		企画展ごとに別途入館料を設定
70歳以上、学校教育活動での引率者、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等 およびその介護者		無料(減免) ※常設展及び当館主催の企画展
大学生以下		無料 ※常設展及び当館主催の企画展

鳥取県立博物館のプログラム別利用者数①

常設展(平成28年度実績)

月別	開館日数	個人	団体	合計	1日あたり入館者数
4月	29日	1,989人(うち減免1,139人)	141人(うち減免53人)	2,130人(うち減免1,192人)	73人
5月	28日	1,989人(うち減免1,266人)	324人(うち減免0人)	2,313人(うち減免1,266人)	83人
6月	29日	934人(うち減免325人)	306人(うち減免65人)	1,240人(うち減免390人)	43人
7月	28日	2,439人(うち減免1,138人)	228人(うち減免0人)	2,667人(うち減免1,138人)	95人
8月	30日	8,661人(うち減免4,634人)	196人(うち減免0人)	8,857人(うち減免4,637人)	295人
9月	26日	1,078人(うち減免168人)	464人(うち減免84人)	1,542人(うち減免252人)	59人
10月	30日	2,139人(うち減免1,409人)	976人(うち減免182人)	3,115人(うち減免1,591人)	104人
11月	27日	2,057人(うち減免1,386人)	686人(うち減免120人)	2,743人(うち減免1,506人)	102人
12月	23日	835人(うち減免258人)	259人(うち減免35人)	1,094人(うち減免293人)	48人
1月	25日	798人(うち減免177人)	263人(うち減免15人)	1,061人(うち減免192人)	42人
2月	26日	1,222人(うち減免666人)	291人(うち減免1人)	1,513人(うち減免667人)	58人
3月	30日	3,122人(うち減免2,016人)	185人(うち減免0人)	3,307人(うち減免2,016人)	110人
合計	331日	27,263人(うち減免14,582人)	4,319人(うち減免558人)	31,582人(うち減免15,140人)	95人

企画展(平成28年度実績)

展覧会名	期間	開館日数	入館者数	1日あたり入館者数
【美術】昭和の洋画を切り拓いた若き情熱 一九三〇年協会から独立へ	4月2日 ～ 5月22日	50日	3,486人 (うち減免1,253人)	70人
宇宙への挑戦 ～未知への扉をひらくとき	7月23日 ～ 8月28日	37日	13,360人 (うち減免764人)	361人
【美術】日本におけるキュビズム ーピカソ・インパクト	10月1日 ～ 11月13日	43日	4,322人 (うち減免779人)	101人
大荒神展	10月15日 ～ 11月6日	23日	1,694人 (うち減免42人)	74人
【美術】シリーズ ミュージアムとの創造的 対話01Monument/Document 誰が記憶 を所有するのか?	平成28年2月25日 ～平成28年3月20日	24日	1,505人 (うち減免584人)	63人

鳥取県立博物館のプログラム別利用者数②

常設展(平成29年度実績)

月別	開館日数	個人	団体	合計	1日あたり入館者数
4月	28日	1,405人(うち減免679人)	125人(うち減免46人)	1,530人(うち減免725人)	55人
5月	31日	1,895人(うち減免995人)	371人(うち減免110人)	2,266人(うち減免1,105人)	73人
6月	26日	735人(うち減免261人)	147人(うち減免1人)	882人(うち減免262人)	34人
7月	28日	3,932人(うち減免1,802人)	147人(うち減免34人)	4,079人(うち減免1,836人)	146人
8月	30日	7,896人(うち減免3,792人)	267人(うち減免0人)	8,163人(うち減免3,792人)	272人
9月	27日	955人(うち減免147人)	307人(うち減免60人)	1,262人(うち減免207人)	47人
10月	29日	2,309人(うち減免1,717人)	1,126人(うち減免136人)	3,435人(うち減免1,853人)	118人
11月	27日	2,633人(うち減免2,070人)	604人(うち減免96人)	3,237人(うち減免2,166人)	120人
12月	24日	2,179人(うち減免1,686人)	331人(うち減免53人)	2,510人(うち減免1,739人)	105人
1月	24日	587人(うち減免106人)	140人(うち減免0人)	727人(うち減免106人)	30人
2月	27日	1,844人(うち減免1,215人)	284人(うち減免0人)	2,128人(うち減免1,215人)	79人
3月	29日	3,279人(うち減免1,917人)	266人(うち減免46人)	3,545人(うち減免1,963人)	122人
合計	330日	29,649人(うち減免16,387人)	4,115人(うち減免582人)	33,764人(うち減免16,969人)	102人

企画展(平成29年度実績)

展覧会名	期間	開館日数	入館者数	1日あたり入館者数
【美術】日本民藝館所蔵 生誕130年 バーナード・リーチ展	4月15日 ～ 6月4日	51日	6,037人 (うち減免1,950人)	118人
つばさの博覧会 巨大翼竜からペンギンまで	7月15日 ～ 8月27日	44日	12,518人 (うち減免1,136人)	285人
鳥取入府 400年 池田光政展 殿、国替えにござります	10月7日 ～ 11月12日	36日	4,005人 (うち減免300人)	111人
フジフィルム・フォトコレクション展 日本の歴史を飾った写真家の「私の一枚」	11月23日 ～ 12月24日	28日	2,961人 (うち減免215人)	106人
【美術】モダンアート再訪 ダリ、ウォーホルから草間彌生まで 福岡市美術館コレクション展	平成30年2月3日 ～平成30年3月18日	43日	5,693人 (うち減免777人)	132人

鳥取県立博物館のプログラム別利用者数③

館外主催展(平成28年度実績)

展覧会名	期間	入館者数 (年度内)	主催者
再興第100回院展鳥取展	6月4日～6月26日	7,113人	株式会社新日本海新聞社
第18回鳥取県写真家連盟 合同写真展	7月2日～7月15日	644人	鳥取県写真家連盟
第60回鳥取県美術展覧会	9月17日～9月22日	2,990人	鳥取県(文化政策課)
第55回鳥取市民美術展覧会	11月27日 ～12月4日	2,704人	鳥取市
第14回ジュニア美術展覧会 東部地区展	平成29年1月12日 ～平成29年1月19日	1,367人	鳥取県(文化政策課)
平成28年度鳥取県文化功労賞 記念巡回展	平成29年1月24日 ～平成29年1月28日	201人	鳥取県(文化政策課)
第38回鳥取県書道連合会展	平成29年2月1日 ～平成29年2月5日	682人	鳥取県書道連合会
第40回鳥取書道連盟展	平成29年2月11日 ～平成29年2月15日	193人	鳥取県書道連盟
水木しげる 魂の漫画展	平成29年2月13日 ～平成29年4月2日	6,539人	鳥取県(まんが王国官房)
合計		22,433人	

教育普及活動(平成28年度実績) ※館内・館外含む

活動分類	実施回数合計	参加人数
移動美術館	2回	569人
学芸員派遣(講師・指導助言)等 (美術分野)	22回	597人
教員向けイベント	1回	61人
普及講座・講演会 (毎週土曜はアートの日！)	53回	1,663人

鳥取県立博物館のプログラム別利用者数④

館外主催展(平成29年度実績)

展覧会名	期間	入館者数 (年度内)	主催者
水木しげる 魂の漫画展	平成29年 4月1日～4月2日	880人	鳥取県 (まんが王国官房)
倉吉絋展	4月7日～4月16日	662人	伯耆しあわせの郷 (織物教室)
アートたけし展	4月22日～5月28日	14,838人	株式会社新日本海新聞社
第61回鳥取県美術展覧会	9月16日～9月25日	4,018人	鳥取県 (文化政策課)
第15回鳥取県ジュニア美術展覧会 東部地区展	平成30年1月13日～ 1月21日	1,963人	鳥取県 (文化政策課)
歌川広重の世界	3月31日～	375人	株式会社新日本海新聞社
合計		22,736人	

教育普及活動(平成29年度実績) ※館内・館外含む

活動分類	実施回数合計	参加人数
移動美術館	2回	2,231人
学芸員派遣(講師・指導助言)等 (美術分野)	26回	903人
教員向けイベント	1回	64人
普及講座・講演会 (毎週土曜はアートの日！)	63回	2,307人

2. 鳥取県立美術館(仮称)に係る情報

美術館の検討経緯①

平成3年以降、新美術館の設置についてさまざまな検討が行われてきている。

平成3年	2月	第6次鳥取県総合計画 「県立博物館の将来構想の検討を行い、自然・美術・人文系の独立館設置を含め、今後の整備についての基本計画を策定」
平成5年	1月	県立博物館将来構想調査研究委員会(内部の研究会)が「博物館の将来構想について」教育長に報告 「当面は美術分野の新施設を整備し、次に自然分野、最終的に人文分野を独立させ、その後に現在の施設を撤去し、跡地は史跡にふさわしい利用に供する。」
平成6年	8月	県立美術館基本構想検討委員会が「県立美術館基本構想について」提言 提言内容:県立美術館の設置目的、名称、基本的性格、機能、資料収集方針など
平成8年	3月	第7次鳥取県総合計画 計画期間(5年間)中に県立美術館の建設に着工。県立博物館の改修計画を策定
平成8年	7月	教育委員会で「鳥取県立美術館建設の基本的方向」を決定 基本テーマ:ふるさと～未来～はばたき 建設場所:鳥取県立鳥取少年自然の家敷地内(鳥取市桂見)
平成8年	11月	県立美術館基本計画策定有識者懇話会の設置
平成9年	9月	教育委員会で「鳥取県立美術館(仮称)基本計画」を決定
平成10年	3月	県立美術館建設協議会の設置
平成11年	2月	美術館の建築・造成の基本設計を公表
平成11年	5月	県議会で片山知事が美術館の建設場所再検討を宣言 その後、巨費を投じるプロジェクトに対する県民の支持や内容検討が不十分として、運営体制など内容面の再検討を表明(同年12月県議会・平成12年3月県議会) 大規模プロジェクト見直しの一環として整備計画を凍結
平成15年	8月	県は鳥取市に「現状では美術館建設は困難」と回答 鳥取市は「美術館通り」整備を休止
平成19年	12月	平成18年度決算審査特別委員会の報告 「収蔵品が適正に保管できるよう県の遊休施設を利用するなど、早急に収蔵場所を確保すべき。駐車場については、鳥取市と緊密な連携を図り、あらゆる手段で利用者利便向上策を早急に検討すべき。」

美術館の検討経緯②

平成20年	12月	鳥取県の将来ビジョン 「財政事情が許せば県民合意を得た上で美術館を建設」
平成21年	4月	平成18年度決算審査特別委員会の報告を受け、応急収蔵対策を実施(～平成23年度) 旧鳥取農業高等学校実習棟を倉庫化し、館内に図書棚を整備するなど
平成24年	11月	平成23年度決算に係る監査意見 「貴重な所蔵品を県民に公開することを念頭に置き、良好な状態で適正に保管できる所蔵場所の確保を早急に検討されたい。」
平成25年	2月	県議会における教育長発言 「(築後40年経過した博物館は)長期的な視点に立ち議論を始めるべき時期に来ている。」
平成25年	11月	平成24年度決算に係る監査意見 「博物館協議会で収蔵庫や現施設老朽化への対応、博物館機能のあり方などについて意見が交わされているが未だ方向性は示されていない。博物館のあり方について分館の設置も視野入れ検討を急ぎ、早急に方針を示されたい。」
平成25年	11月	県議会における教育長発言 「(様々な問題が表面化しており)将来を見据え博物館のあり方を根本的に検討する時期に来ている。来年度、外部の有識者を含めた検討委員会を設け具体的議論を行う。」
平成25年	12月	平成24年度決算審査特別委員会の報告 「博物館の現状や課題を整理し、今後の博物館のあり方について、ゼロベースから検討・議論を始め、県民理解を得た上で、早急に今後のあるべき姿の方向性を決定していくべき。」
平成26年	2月	県議会における知事発言 「博物館については展示等も工夫し、人員も充実するなど努力した結果、H24年度は11万人超が来館したが、収蔵庫に窮屈感、展示室に狭隘感があるので、教育委員会を中心にして検討して貰う。知事部局としても、有機的に連携・参画する。」 県議会における教育長発言 「来年度は、外部の専門家も入れて評価基準を作成し、博物館のこれまでの活動や現状を客観的に評価して、今後の議論の基盤を作りたい。その検討結果を県民にも示して意見をいただきたい。1年程度時間をかけて検討した上で、整備方針を議論したい。」

出典:「鳥取県立博物館現状・課題検討結果報告書」

美術館の検討経緯③

平成26年度以降は、博物館のあり方について具体的検討が進められてきた。

平成26年8月	「鳥取県立博物館現状・課題検討委員会」設置(6回にわたり総合的検討を実施)
平成27年2月	「鳥取県立博物館の今後の施設設備のあり方に関するアンケート」実施 県民参画電子アンケートの結果を実施 対象:県政参画電子アンケート会員 回答:401名/485名(82.7%) ※重複回答者除く
平成27年3月	「鳥取県立博物館現状・課題検討結果報告書」公表 「現在の3分野(自然、歴史・民俗、美術)のうちいずれかの分野のために新たな施設を整備するとともに、現在の建物に残る2つの分野のための施設に改修することを基本として県民的議論を深めるべき」との取りまとめ
平成27年7月～	「鳥取県美術館整備基本構想検討委員会」設置 美術館を整備する場合における基本的な設置目的・理念、性格や機能、施設設備や規模、立地条件、運営体制等について検討
平成28年10月	美術館の整備に関する県民意識調査(3,000名)を実施
平成29年1月	美術館の建設場所に関する県民意識調査(5,000名)を実施
平成29年3月	「鳥取県立美術館整備基本構想(最終報告)」公表
平成30年7月	「鳥取県立美術館整備基本計画」公表

美術館の設置に係る基本的な考え方①

基本構想では、現状の課題に対応するための基本的な考え方が示された。

鳥取県立美術館基本構想

美術館の必要性

- (1) 鳥取県の美術の継承と発信
- (2) 内外の美術との接触と交流
- (3) 県民の創造性と鳥取県の魅力の向上

新しい美術館の目的

新美術館を「人口減少時代における鳥取県創生の拠点」とするための目的意識

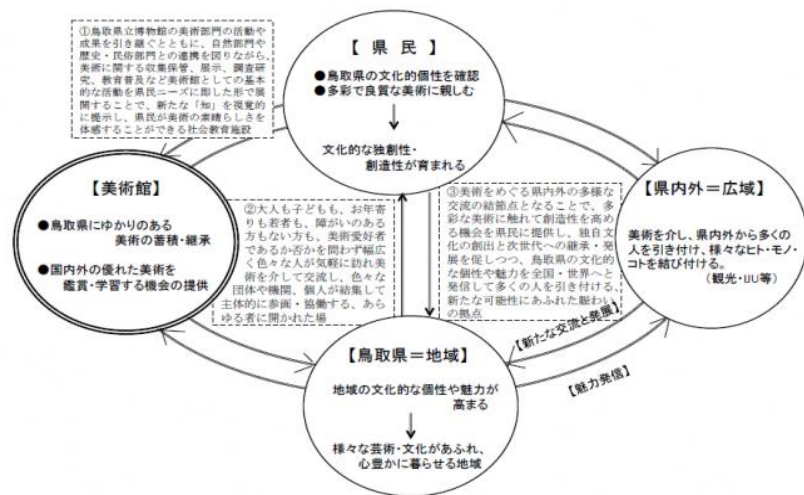
1. 鳥取県にゆかりのある美術の蓄積・継承に努めるとともに、国内外の優れた美術を鑑賞・学習する機会を提供する。
2. 県民に、鳥取県の文化的個性を確認しつつ、多彩で良質な美術に親しんでもらうことにより、文化的な独創性・創造性を育む。
3. 鳥取県の文化的な個性や魅力を高め、様々な芸術、文化があふれ心豊かに暮らせる地域を創り上げる。
4. 美術を介して県内外の多くの人を引き付け、様々なヒト・モノ・コトを結び付けて、新たな交流と発展の核となる。

美術館の設置に係る基本的な考え方②

基本構想では、新美術館の必要性に加え、学校教育等と連携した美術を通じた学びの拠点としての役割、県内どこでも美術館のサービスが享受できることの重要性に鑑み、基本的な在り方について整理を行った。

鳥取県立美術館基本構想

基本的な在り方



1. 「とっとりのアート」の魅力を知り、大切に守り、誇りを持って県内、県外そして世界へと発信するとともに、より多くの人々に内外の多彩で優れたアートに触れる機会を提供する。
2. 人々が思い思いに楽しみと夢と喜びを見出し、次代を担う子どもたちが優れたアートと出会い、想像力や創造性を育むことができる場所とする。
3. 地域に根差し県民のアイデアと愛情で運営される、「私たちの県民立美術館」となる。
4. アートによって街を目覚めさせて文化的感性の高い賑わいのある地域づくりに貢献する。
5. 鳥取県創生の拠点となるよう、大胆かつ柔軟に新たな可能性を求め、次代に向けて新たな地平を拓くことを目指す。

美術館の目的・コンセプト

鳥取県立美術館整備基本計画

「私たちの県民立美術館」



未来を「つくる」美術館

～いろんな「つくる」で「とっとりのアート」の
「むかし」「いま」そして「みらい」をつむぐ～

1. 人を「つくる」

(1)「みるひと」をつくる:多くの人が訪れる美術館に

- ・魅力的な企画展示
- ・通常の展示が鑑賞しにくい方に配慮した展示
- ・従来の美術館像にとらわれない賑わい機能の創出
- ・オープンな美術館 等

(2)「つくるひと」をつくる:さまざまな創作者を支援しそだてる

- ・子どもたちや県民の美術創作の支援
- ・障がい者アートの支援
- ・幅広い芸術表現との連携 等

(3)「みらいの才能」をつくる:未来人材教育プログラム

- ・子どもたちに身近な美術館
- ・「とっとりの美術」をまなび・つくる環境を 等

(4)「居場所」をつくる:時間を過ごすことが楽しめる

- ・サードプレイスにもなる心地よい美術館
- ・多機能な美術館

2. まちを「つくる」

(1)周辺施設とまちをつくる:周辺施設とともにまちをささえる

- ・倉吉パークスクエアと一体となったイベントの開催
- ・大御堂廃寺跡と連携したのびやかで広がりのある美術館
- ・倉吉市立図書館等との連携

(2)地域とまちをつくる:地域の魅力をたかめる

- ・白壁土蔵群等との連携
- ・ポップカルチャー資源の活用 等

(3)他館とまちをつくる:連携により地域の魅力をたかめる

- ・県内の美術館と連携した広域的展開
- ・県外美術館との交流
- ・他施設を活用した展開 等

3. 県民が「つくる」

(1)県民が誇れる美術館

- ・誇りに思える美術館に
- ・みんなが楽しめるオープンな美術館

(2)県民が参加できる美術館づくり:県民とともにささえる

- ・県民による美術館づくりへの参加
- ・つくるプロセスをオープンに
- ・県民が支え育てる美術館 等

(3)展示・収蔵品とともに成長していく美術館
～施設完成がはじまり～

- ・収蔵品を増やし成長する美術館
- ・収蔵品とともに研究を深める美術館 等

美術館に必要な機能と主な事業①

鳥取県立美術館基本計画

中心となる機能と事業展開の例

あつめる・まもる (収蔵)

・収集方針を見直し、より広範囲の優れた美術作品等を収集するとともに、県民等からの寄贈等の積極的な受入れ。

しらべる・ふかめる (調査研究)

・収集美術作品等の調査研究とともに、県民が自らの収蔵作品の調査研究を学芸員と協働して実施。

つたえる・たのしむ (展示)

・収蔵作品のジャンル・テーマ別等の展示展開や、魅力的な大型展覧会の開催、大御堂廃寺跡の歴史風土、「まんが王国」を活かした展示。

ふれてまなぶ・であってまなぶ (館内外での教育普及)

・美術を楽しめる体験講座やセミナー、ワークショップ等の実施、多様な県民のためのプログラムの展開。

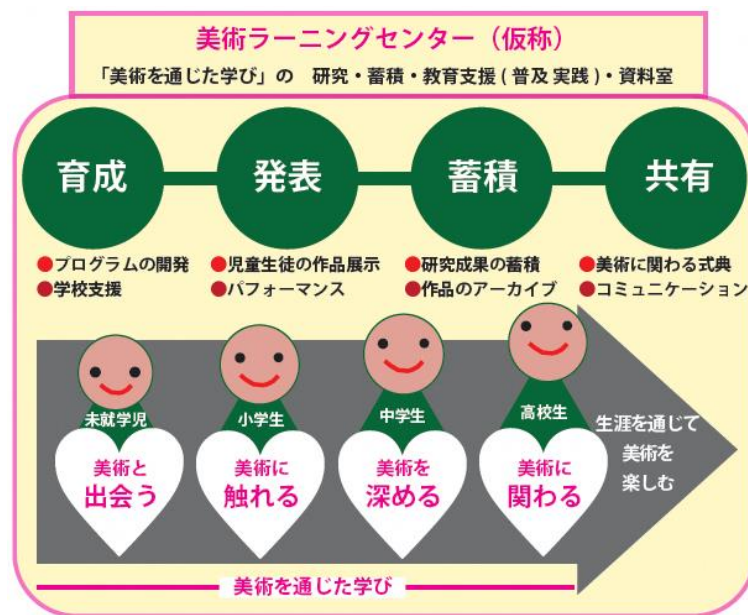
つなぐ (地域・学校・県民 との連携・協力)

・県内美術館や周辺施設等と連携した県民の美術を楽しむ機会や交流機会の創出。
・県民参画の「ワークショップづくり隊」と一緒にプログラム等の企画・実施。

美術ラーニングセンター(仮称)の設置

美術ラーニングセンター機能の柱

- ・「美術を通じた学び」についての研究・蓄積
- ・蓄積したノウハウの提供と、学校現場での教育の支援(普及 実践)
- ・優れた児童・生徒作品のデジタルアーカイブや美術関係図書の整理等、資料室としての機能



美術館の立地・施設概要

基本構想では、「様々な人が気楽に訪れることのできる場所」、「地域づくり・まちづくりと連携し易い場所」、「必要な機能確保・施設設備が極力安価で可能な場所」の観点から、倉吉市営ラグビー場が適切と評価された。建設予定地の倉吉市営ラグビー場は、倉吉未来中心を含む倉吉パークスクエアに隣接している。



現地写真の撮影方向

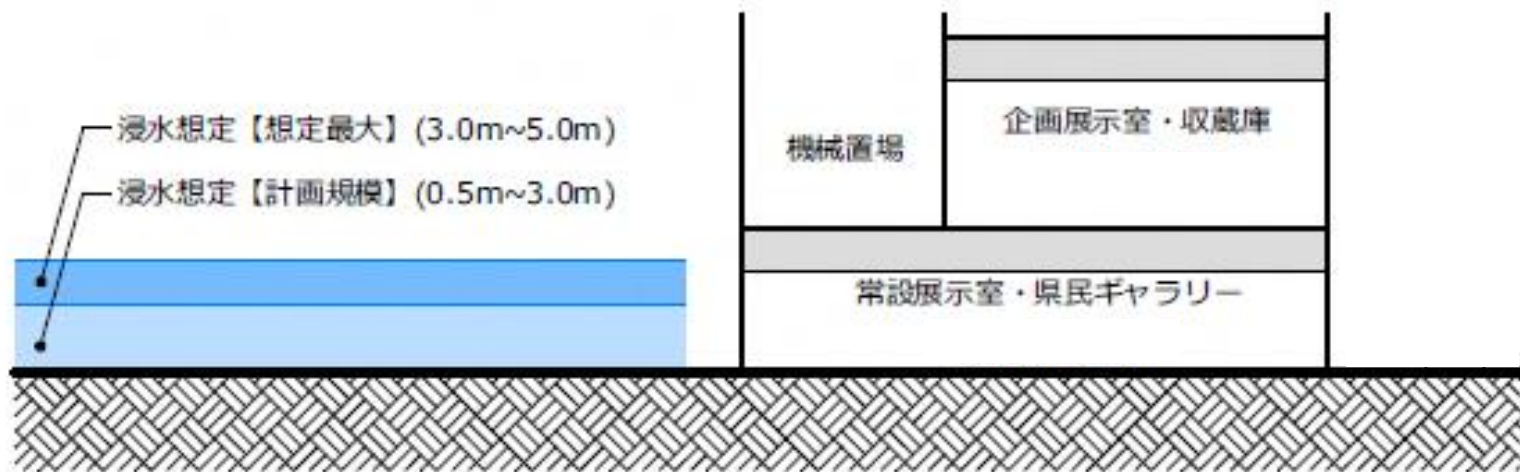
南側には、国指定史跡の大御堂廃寺跡(史跡指定地:合計33,503.47㎡)があり、現在の市営ラグビー場南側の一部分(5,949.05㎡)は史跡指定地と重複している。

名称	(仮称)鳥取県立美術館
所在地	鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-1 外
土地所有者	倉吉市
建物所有者	鳥取県
開館予定日	平成36年度
敷地面積	約20,000㎡(建ぺい率80%・容積率400%)
延床面積 (基本計画公表時)	9,910㎡

美術館の浸水想定

浸水想定

■ 断面イメージ



※浸水想定【想定最大】…想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水において、天神川が氾濫した場合

浸水想定【計画規模】…1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1%の降雨に伴う洪水において、
天神川が氾濫した場合

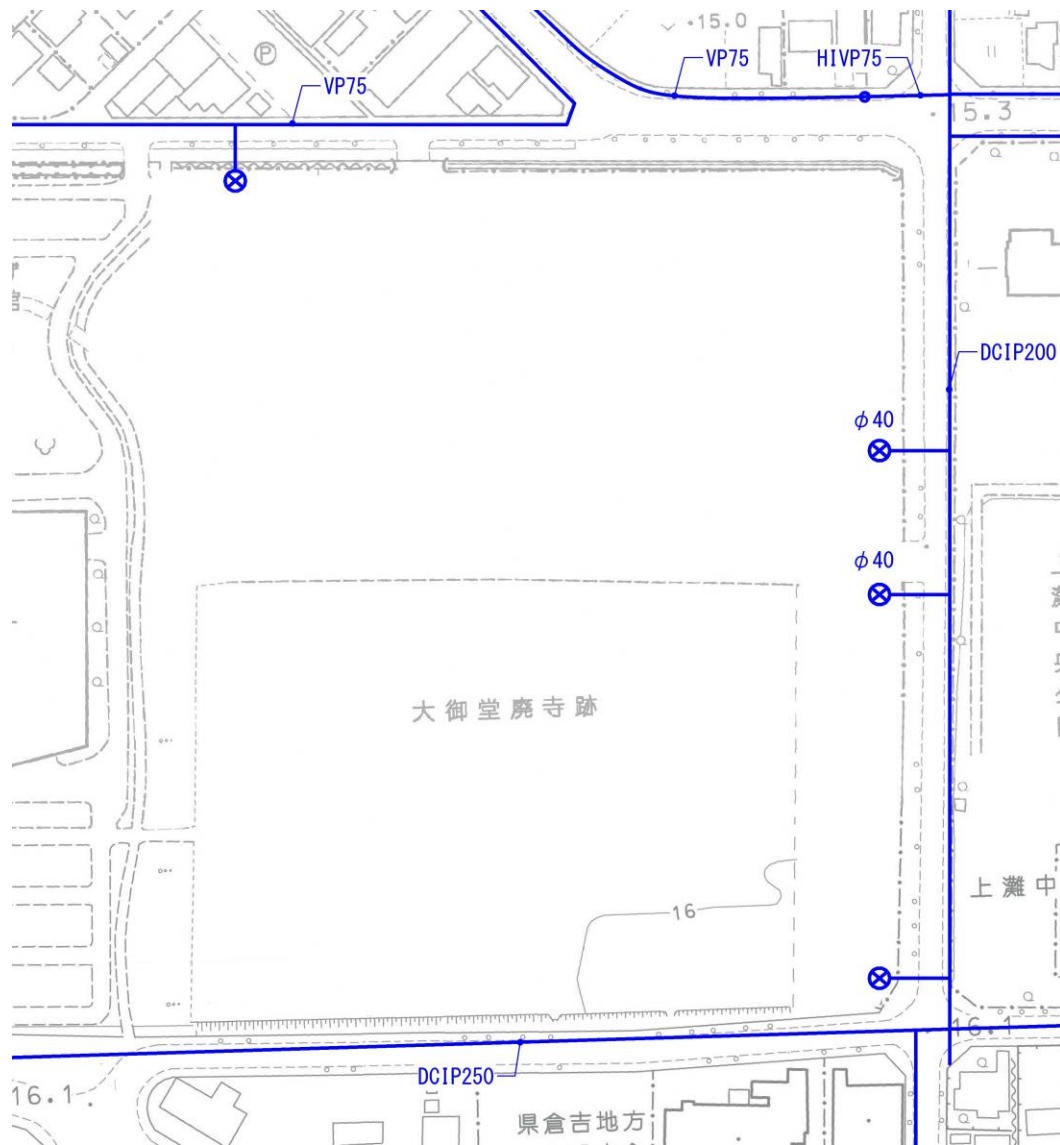
美術館の建設に係る日影ラインの検討

日影ラインの検討



建設予定地のインフラ①

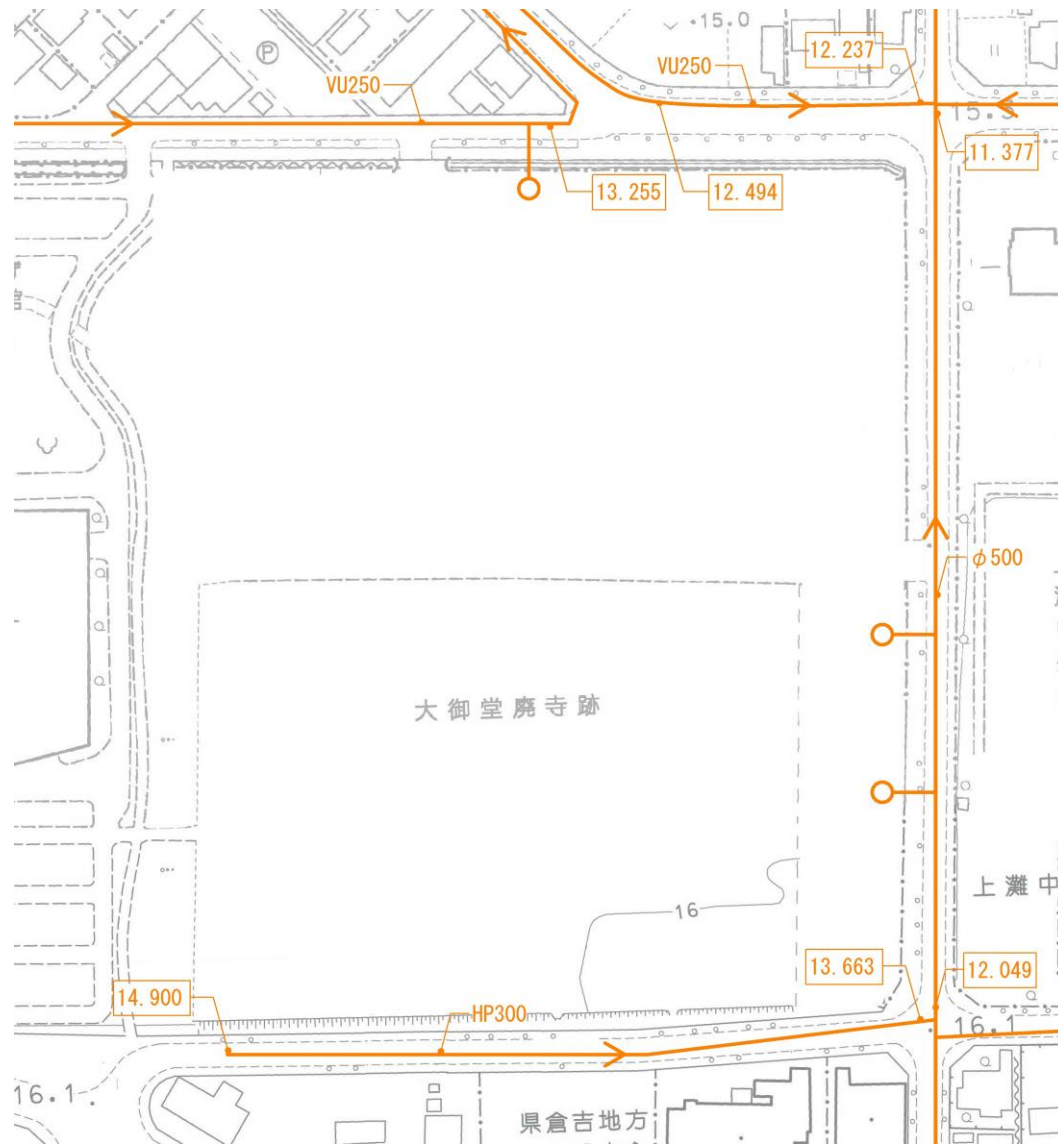
上水道



出典:倉吉市上水道管理図

建設予定地のインフラ②

下水道



出典:倉吉市下水道台帳

美術館の収蔵予定品

美術分野の収蔵品は平成30年4月1日現在、所蔵・寄託・継続借用含め、計11,348点にのぼる。

鳥取県立博物館(美術分野)収蔵作品等の状況

(平成30年4月1日時点)

区分	所蔵	寄託	継続借用	計
近世日本画	691	395	14	1,100
近代日本画	277	18	3	298
洋画	688	2	48	738
水彩・素描	1,948		21	1,969
写真	377			377
版画	484	2		486
彫刻	96	5	22	123
工芸	1,481	94	9	1,584
書	256	2	3	261
資料・その他	3,283	1,128	1	4,412
合計	9,581	1,646	121	11,348

年度別の展示点数(常設展示点数)

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
471	471	330	608	471	435

美術館の代表的なコレクション

日本画



沖一峨
「花果方円図」



片山楊谷
「花王獸王図」



菅橋彦
「神倉秋景」

洋画



前田寛治
「棟梁の家族」



佐伯祐三
「オーヴェールの教会」



ギュスターヴ・クールベ
「まどろむ女(習作)」

版画



岡村吉右衛門
「梟祭」

彫刻



辻晉堂
「拾得」

写真



塩谷定好
「天気予報のある風景」



植田正治
「パパとママとコどもたち」

工芸



バーナード・リーチ
「扁壺」



前田昭博
「白瓷面取壺」

(参考)鳥取県立博物館美術部門のコレクション概要(寄託・継続借用除く)①

(平成30年4月1日時点)

分野	区分		所蔵点数	主な作家等 ※()内は点数
日本画	近代以前の日本画	郷土作家	421	土方稲嶺(81)、沖一峨(39)、片山楊谷(27)、島田元旦(43)、沖探容、黒田稲皐など
		その他	270	曾我蕭白(1)、与謝蕪村(1)、狩野常信、古画、仏画など
	近代・現代日本画	郷土作家	270	遠藤董(32)、菅楯彦(42)、小早川秋聲(11)、中島菜刀(10)、濱田台兒(10)、前田直衛(20)、寺島節朗など
		その他	7	水田慶泉など
洋画	油彩	郷土作家	593	前田寛治(45)、中井金三、安岡信義、笹鹿彪、浜田宜伴、伊谷賢蔵、福留章太、国頭繁次郎、松田晃八、尾崎悌之助など
		その他	95	佐伯祐三(1)、里見勝蔵(2)、小島善太郎(1)、木下孝則(1)、木下義謙(1)、林武(2)、伊原宇三郎(1)、川口軌外(1)、鈴木千久馬(2)、鈴木亜夫(1)、児島善三郎(1)、中山巍(1)、古賀春江(1)、クールベ(1)、ヴラマンク(1)、須田国太郎(1)、高島達四郎(1)、鍋井克之(1)、向井潤吉(2)、國領経郎(17)、芝田耕(24)など ※下線は前田寛治関連作家
	水彩・素描	郷土作家	1927	前田寛治(317)、恩田孝徳、安岡信義、田中正之、浜田宜伴、伊谷賢蔵、辻晋堂など
		その他	21	川口軌外、向井潤吉、國領経郎など

(参考)鳥取県立博物館美術部門のコレクション概要(寄託・継続借用除く)②

(平成30年4月1日時点)

分野	区分		所蔵点数	主な作家等 ※()内は点数
版画	近代・現代版画	郷土作家	470	橋本興家(98)、野崎信次郎(58)、辻 晉堂(7)、岡村吉右衛門(290)など
		その他	14	古賀春江(1)など
彫刻	近代・現代彫刻	郷土作家	91	辻晉堂(67)、山本兼文、長谷川塊記、 早川巍一郎、入江甲、福嶋敬恭、石田 明、湯村光、茗荷恭介、中ハシクシゲ、 井田勝己など
		その他	5	仏像、神像など
工芸	現代陶芸	郷土作家	131	瀬戸浩(53)、生田和孝(33)、前田昭 博(9)など
		その他	12	濱田庄司(5)、バーナード・リーチ(1)な ど
	染織	郷土作家	33	岡村吉右衛門(32)、大坪重周
	その他		1305	近世陶磁(因久山焼、伊万里焼、唐津 焼、備前焼など)、近代陶芸(京焼な ど)、日本の染織品(68)、アジアの染 織品(102)、漆器(箆笥、硯箱、印籠、 盆)、金工品(刀)など
書		近代以前 の書家	231	後水尾天皇、池田光政、香川景樹、飯 田年平など
		近代以降 の郷土作家	25	遠藤董、岡田機外、大淵碧晴、都宮彬 聖、岩垣翠城など
写真	近代・現代写真	郷土作家	368	塩谷定好(100)、植田正治(30)、杵島 隆(98)、岩宮武二(140)
		その他	9	やなぎみわ、アンドレアス・ギフェラーな ど
その他 (二次資料)			3283	絵はがき、書簡類、試作品、下絵類など
総合計			9581	

美術館の収蔵環境

収蔵管理基準

現在の管理基準

- 所蔵又は借用の指定文化財の展示環境は、文部科学省が定めた「国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項の制定について」に沿って管理
- 東京文化財研究所が公開する温湿度・照度基準を参考に「博物館冷暖房管理温湿度」の基準を設定
- 生物被害管理(虫カビ含む)は、文部科学省が公表している「カビ対策マニュアル」を参照にIPM管理を実施
- 殺虫・殺カビ方法は、東京文化財研究所が公表している「文化財燻蒸を計画するときの注意事項」で定める事項に留意し、資料・人に安全な方法で実施

温湿度・照度基準

現在の管理基準

- 資料により、求められる基準(所有者の意向、指定・未指定文化財、美術・自然・人文資料の差、資料の材質・履歴の差など)が異なり、都度調整を実施
- 展示各室・展示ケースに温湿度計を設置し大きな逸脱がないかどうか常時データ取得により監視を実施
- 温湿度計にはデータロガーを常時設置し、状況により自記温湿度計を併用

殺虫・殺カビ基準

現在の管理基準

- 害虫調査(年12回)、カビ調査(年3回)を実施
- 問題発生時・外部からの資料搬入時に殺虫・殺カビ処理を実施
- 状況に応じ、脱酸素剤処理・二酸化炭素処理・燻蒸等の方法を選択

新美術館においても同様の収蔵環境を維持する方向

事業実施スケジュール(予定)



日程		スケジュール
平成31年	3月19日	・実施方針、要求水準書(案)の公表
平成31年	3月28日	・実施方針等説明会の開催
平成31年(2019年)	6月(予定)	・特定事業の選定・公表
平成31年(2019年)	6月(予定)	・(入札公告までに)建設予定地の地盤調査の実施
平成31年(2019年)	7月(予定)	・入札公告、入札説明書等の公表、入札説明書等説明会の実施
平成31年(2019年)～平成32年(2020年)前半		・重点対話、提案審査書類の提出、公開プレゼンテーション
平成32年(2020年) 前半		・落札者の決定
平成32年(2020年) 前半		・事業契約の締結

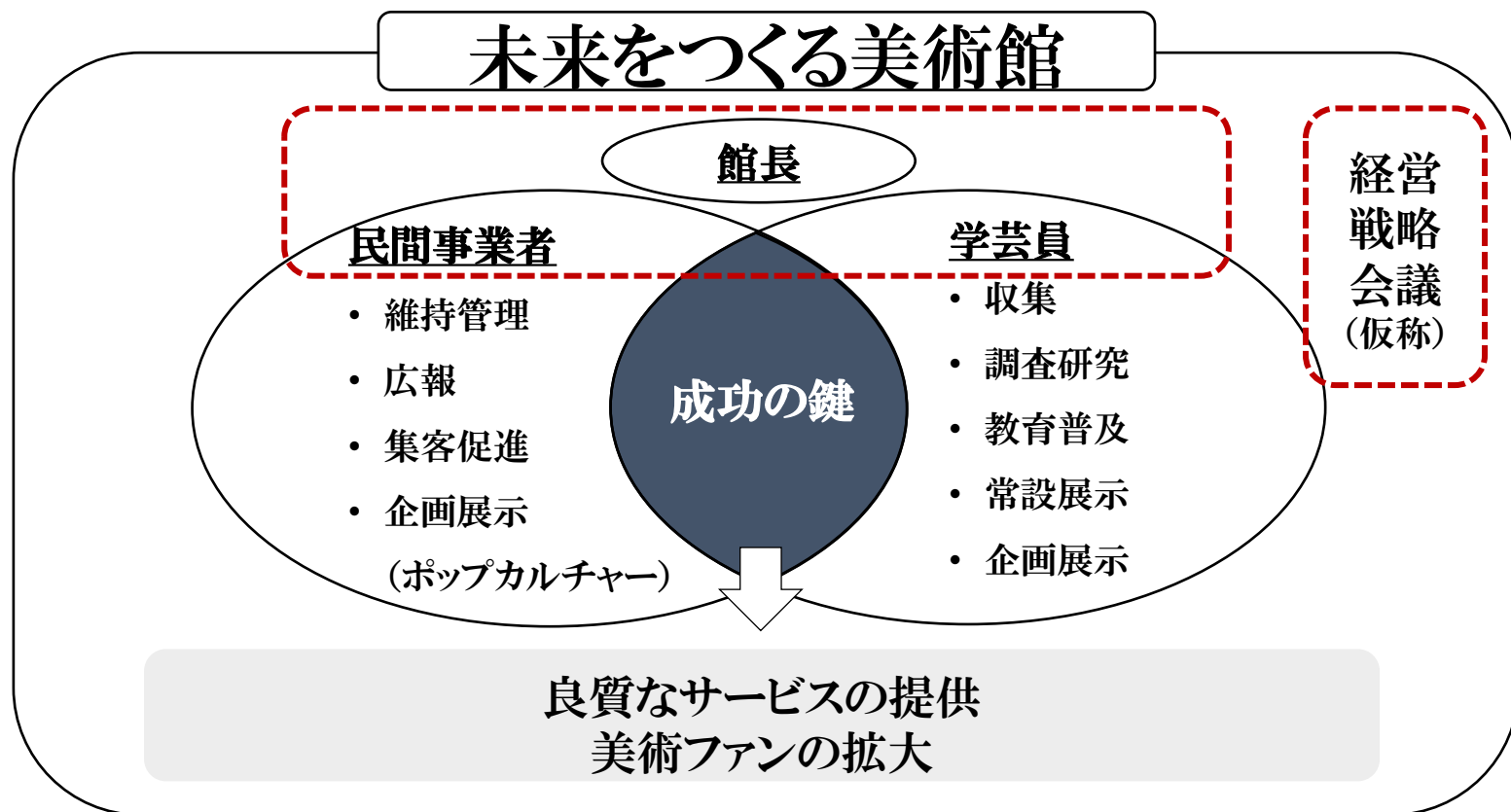
3. 鳥取県立美術館（仮称）の基本スキーム（案）

本事業における官民連携の基本的な考え方

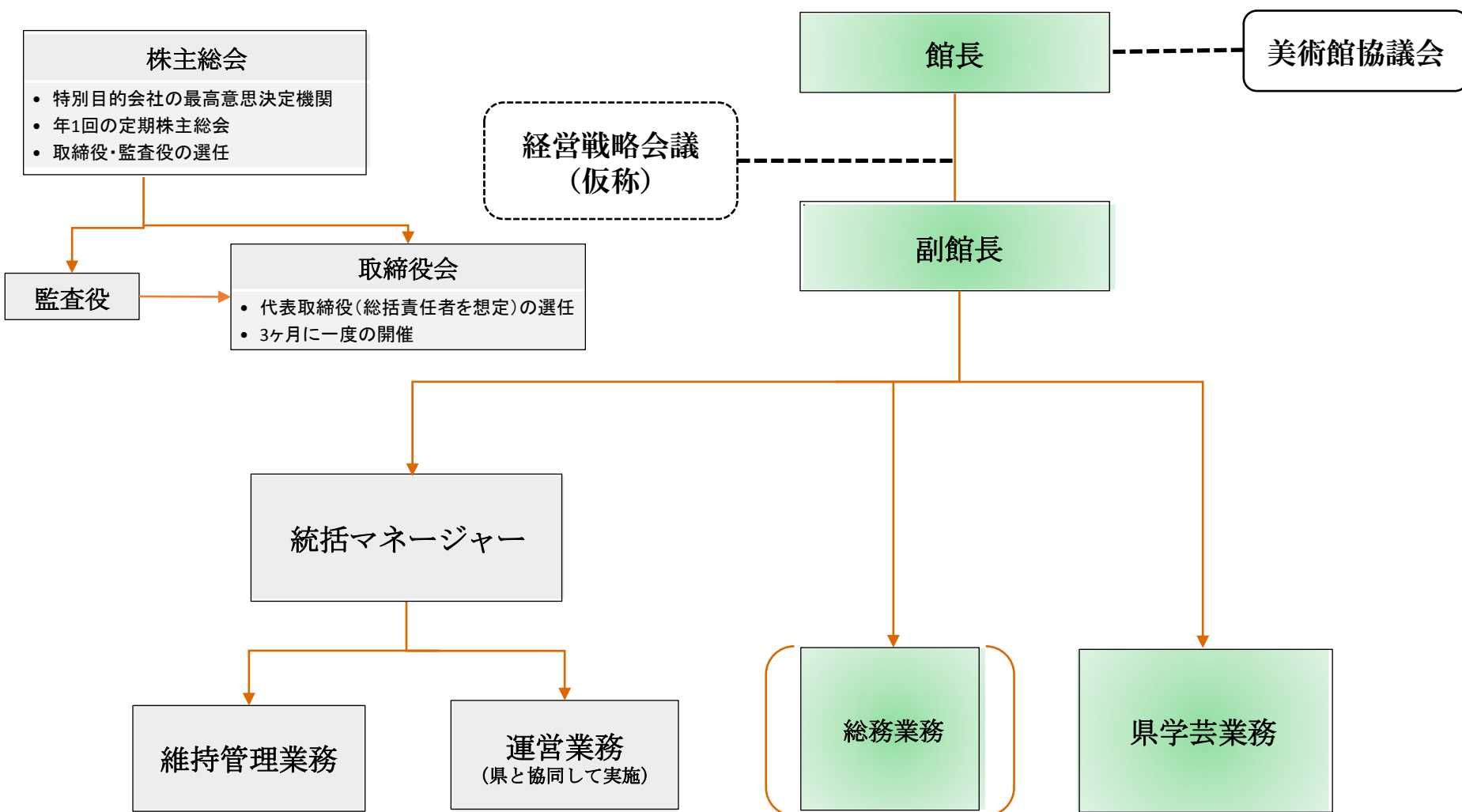
『鳥取県立美術館整備基本計画』

美術館運営に関わる者全てが横断的に連携し、協力し合うことで、
魅力ある事業の企画・運営を行う体制とします。

- ✓ 美術館運営は県と民間事業者の“縦割り”ではなく、“交わり”を重視する。
- ✓ 民間事業者と学芸員は対等な関係「ビジネスパートナー」となり、戦略的な美術館運営を実現する。

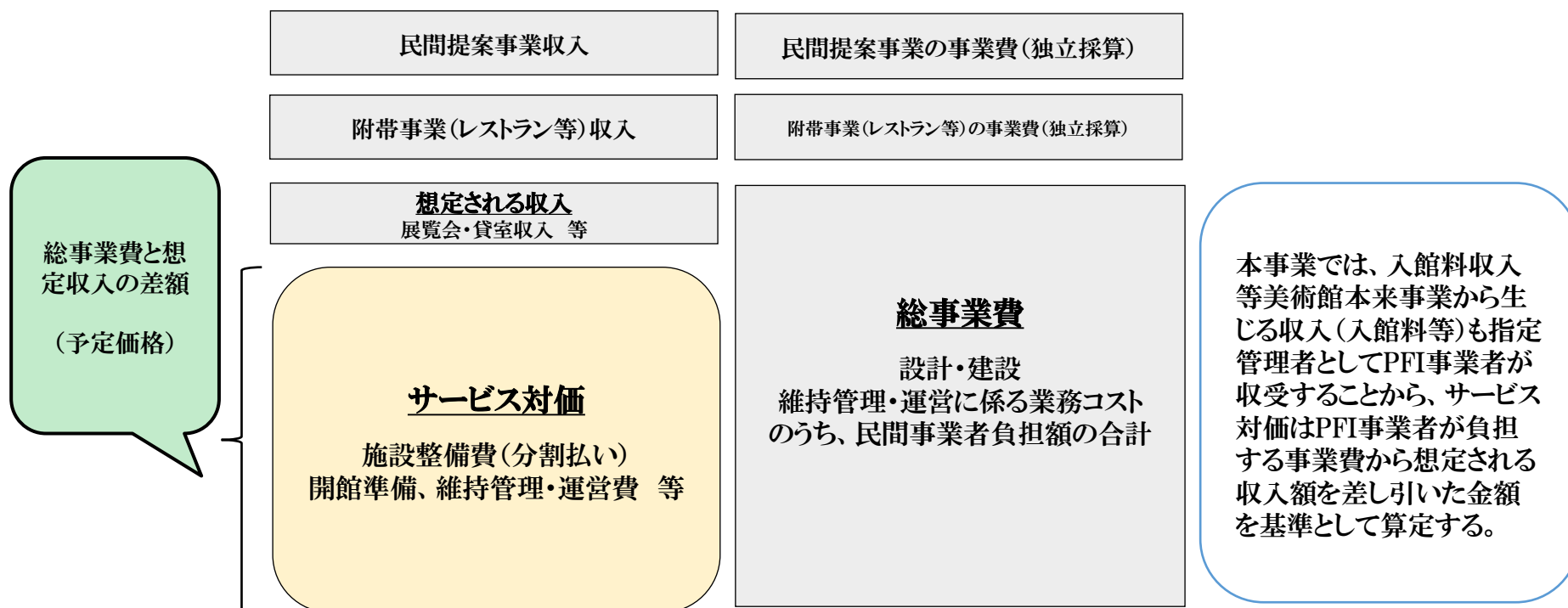


美術館運営における実施体制(イメージ)



サービス対価の算定に関する基本的な考え方

- ✓ 本事業は、庁舎等をはじめとするPFI事業と同様に、県が発注する業務に係る要求水準を満たすことを条件に、事業者に対して、サービスを購入した対価を支払うこととなる。
- ✓ 他方、庁舎等の公共施設とは異なり、本事業では、美術館運営を行うことにより一定の収入が生じることから、当初収入を事業者が指定管理者として収受することとし、その分だけ、サービス対価を減額して事業者に支払うことを予定している。
- ✓ この点、本事業は、PFI事業におけるサービス購入型及び独立採算型の中間である混合型事業となる。
- ✓ 上記を踏まえ、本事業におけるサービス対価は以下に示すような形で算出することを予定している。



美術館の運営に関する情報①

想定年間企画展パターン

	【開館初年度、2年目】	【3年目以降平年ベース】	【開館初年度、2年目】	【3年目以降平年ベース】	県博での展示	(まんが王国との共催)	(障がい福祉課との共催)	(文化政策課との共催)
	大規模展	大規模展	中規模展	中規模展	県博	ポップカルチャー		
展示テーマの例・イメージ	※主にマスコミとの共催、あるいは実行委員会組織を想定 ・江戸美術の巨匠展 ・西洋美術の巨匠展 ・海外美術館所蔵品展(高額) ・国内外の物故・現存著名作家展(高額) ・IT技術を活用した現代美術展	※主にマスコミとの共催、あるいは実行委員会組織を想定 ・江戸美術の巨匠展 ・西洋美術の巨匠展 ・海外美術館所蔵品展(高額) ・国内外の物故・現存著名作家展(高額) ・IT技術を活用した現代美術展	※主に自主企画を想定 ・鳥取ゆかりの物故作家(前田寛治、植田正治等)展 ・海外美術館所蔵品展(低額) ・国内美術館所蔵品展 ・国内外の物故・現存著名作家展(低額)	※主に自主企画を想定 ・鳥取ゆかりの物故作家(前田寛治、植田正治等)展 ・海外美術館所蔵品展(低額) ・国内美術館所蔵品展 ・国内外の物故・現存著名作家展(低額) ・館内外での連携的アートプロジェクト展	※自主企画を想定 ※県立博物館での相当規模の展覧会 ・鳥取県立美術館アートコレクション選展 ・アーティスト・イン・レジデンス成果展 ・鳥取ゆかりの現存作家個展・グループ展	※まんが王国との共催 ※PFI事業により、幅広い層が興味を持つ分野の企画展を開催 ※中規模展並の予算で実施 ・国内外のポップカルチャー紹介展	※障がい福祉課との共催 ・国内外のアール・ブリュット紹介展	※文化政策課との共催 ・鳥取県美術展覧会
過去の展示例	相当する当館の過去の展示例	・大水木しげる展(2004) 15151人	・ワイエス水彩素描展(2004) 8216人 ・沖一峨展(2006) 7609人 ・ヴェネツィア絵画のきらめき(2007) 7852人 ・柳宗悦展(2012) 8108人 ・ファインバーグコレクション展(2013) 9041人	・シャガール版画展(2002) 5409人 ・モダンアート再訪展(2018) 5693人 ・創造的対話展(2016,2018)	・平久弥・池本喜巳展(2004) 3967人 ・前田昭博展(2009) 3586人	・水木しげる展(没後・2016) 7419人 ・谷口ジロー展(没後・2017) 6847人	・アールブリュット展(2014年 2,353人)	・鳥取県美術展覧会(県博会場:2017年4,018人、2016年2,990人、2015年2,561人、2014年3,826人)

美術館の運営に関する情報②

想定事業収支項目

収入	支出			
項目	項目	区分	項目	区分
入場料収入	直接費		間接費	
図録収入	企画元(メディア・企画会社等)	委託費	宣材印刷費(著作権費含)	広報費
グッズ収入	実行委員会	委託費	宣材掲出費	広報費
その他収入(協賛・音声ガイド等)	作品借用料・作家謝礼	賃借料/諸謝金	配布物印刷費	広報費
	原稿料・監修料	諸謝金	デザイン費	広報費
	旅費・会議費ほか	旅費交通費/会議費	6. 広告・宣伝費	
	輸送・展示・撤去	通信運搬費	レセプション	会議費
	保険料	保険料	広報費	広報費
	映像等製作費	委託費	イベント・ワークショップ費	広報費
	1. 企画費		消耗品費	
	展示ケース・仮設壁	委託費	図録買上料	
	額装	委託費	看視員	
	パネル・キャプション	委託費	駐車場警備	
	照明・記録	委託費	その他	
	2. 会場設営費		7. その他経費	雑費
	3. 図録費用	委託費		
	4. グッズ費用	委託費		

4. 建設予定地の周辺環境

鳥取県の人口

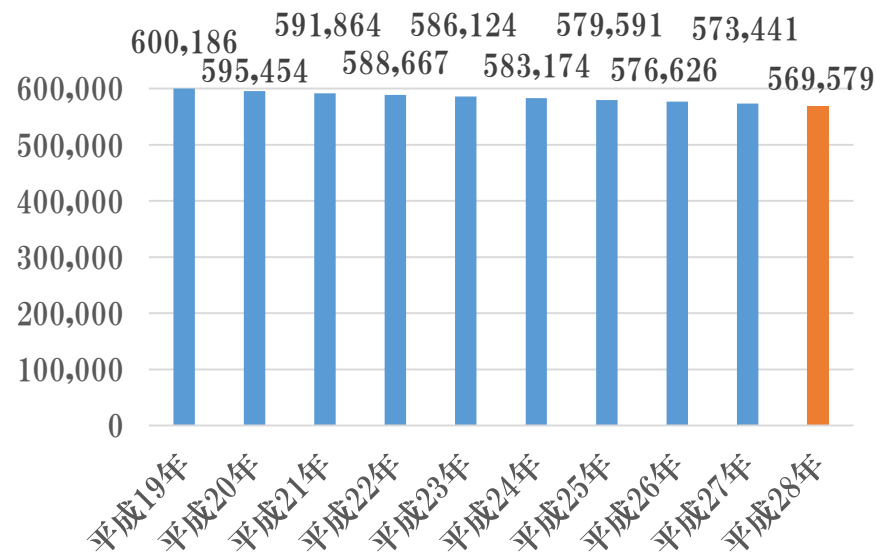
鳥取県の人口はこの10年で減少傾向にあり、直近の統計(平成28年10月1日現在)では569,579人である。



鳥取県の県章



鳥取県の人口推移(単位:人)



県花:二十世紀梨の花



県鳥:おしどり



県木:ダイセンキョロボク



県魚:ヒラメ



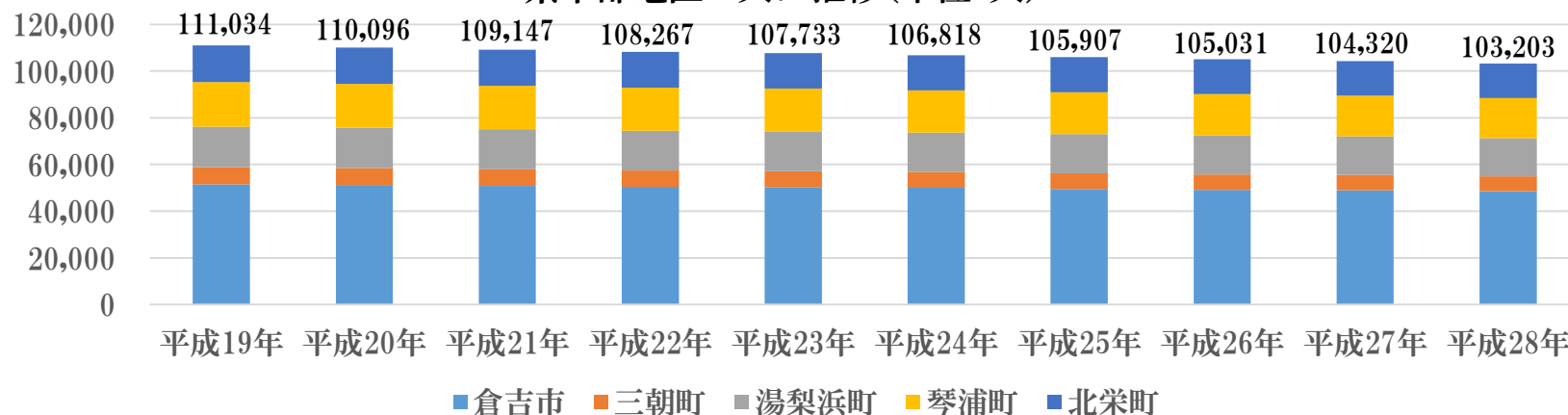
出典:鳥取県ホームページ

県中部地区の人口

鳥取県中部地区(倉吉市・東伯郡三朝町・湯梨浜町・琴浦町・北栄町)の人口は直近の統計(平成28年10月1日現在)では2市4町合計で103,203人である。また、県境をはさんで隣接する岡山県真庭市の人口は直近の統計(同上)では47,315人であり、同市の蒜山地域は鳥取県中部地区とともに「とっとり梨の花温泉郷エリア」を形成し、広域観光を促進している。



県中部地区の人口推移(単位:人)



出典:鳥取県、倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、倉吉市マイス協会ホームページ

県中部地区の環境

新美術館建設予定地周辺には、国の重要伝統的建造物群保存地区として指定されている打吹玉川地区をはじめ、江戸時代末期から戦前までに建造された家屋・土蔵が多く残る佇まいを残している。周囲は三朝温泉、はわい温泉、東郷温泉にも囲まれ、旧関金町の関金温泉は山陰屈指の古湯として日本名湯100選に選出されている。

青山剛昌ふるさと館
年間入館者数：11万人



青山剛昌
ふるさと館

北条みらい伝承館
(北条歴史民俗資料館)

白壁土蔵群
年間入込客：61万人



倉吉未来中心
年間利用者：19万人



二十世紀梨記念館
年間利用者：11万人



倉吉未来中心施設別利用状況(平成 26～29年度)

施設区分	平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	開催日数 (日)	利用日数 (日)	利用率 (%)	入場者数 (人)	開催日数 (日)	利用日数 (日)	利用率 (%)	入場者数 (人)	開催日数 (日)	利用日数 (日)	利用率 (%)	入場者数 (人)	開催日数 (日)	利用日数 (日)	利用率 (%)	入場者数 (人)
大ホール	306	155	50.7	61,392	308	131	42.5	47,050	182	82	45.1	34,155	311	123	39.5	53,974
小ホール	316	215	68.0	35,257	310	209	67.4	29,988	237	163	68.8	21,923	318	223	70.1	30,363
ホール計	622	370	59.5	96,649	618	340	55.0	77,038	419	245	58.5	56,078	629	346	55.0	84,337
リハーサル室	330	212	64.2	6,549	330	236	71.5	5,771	282	198	70.2	4,783	331	221	66.8	5,669
練習室 1	333	308	92.5	2,351	333	301	90.4	2,288	281	252	89.7	1,775	332	307	92.5	2,277
練習室 2	333	195	58.6	3,709	333	207	62.2	2,735	281	179	63.7	2,271	330	198	60.0	2,542
練習室(2室)計	666	503	75.5	6,060	666	508	76.3	5,023	562	431	76.7	4,046	662	505	76.3	4,819
セミナールーム 1	332	248	74.7	9,184	333	242	72.7	8,105	283	176	62.2	5,715	332	246	74.1	7,957
セミナールーム 2	332	240	72.3	4,004	333	243	73.0	4,151	283	178	62.9	2,853	332	241	72.6	4,021
セミナールーム 3	332	273	82.2	22,454	333	260	78.1	22,226	189	154	81.5	12,257	305	242	79.3	21,073
セミナールーム 4	332	278	83.7	4,336	333	270	81.1	4,099	283	207	73.1	2,610	332	270	81.3	3,806
セミナールーム 5	332	246	74.1	3,450	333	234	70.3	3,052	283	162	57.2	2,007	332	237	71.4	2,936
セミナールーム 6	332	294	88.6	4,453	334	283	84.7	4,706	283	217	76.7	3,301	332	281	84.6	4,682
セミナールーム 7	332	227	68.4	6,111	333	250	75.1	6,856	283	178	62.9	3,837	332	239	72.0	6,371
セミナールーム 8	332	160	48.2	1,210	333	151	45.3	1,224	283	95	33.6	685	332	146	44.0	1,146
セミナールーム 9	332	218	65.7	1,864	333	245	73.6	2,298	283	168	59.4	1,503	332	230	69.3	1,974
セミナールーム(9室)計	2988	2184	73.1	57,066	2998	2178	72.6	56,717	2453	1535	62.6	34,768	2961	2132	72.0	53,966
アトリウム	333	219	65.8	44,186	334	221	66.2	36,929	188	122	64.9	24,083	306	201	65.7	40,020
団体事務局サロン	332	332	100.0	1,688	332	332	100.0	1,879	282	282	100.0	1,721	332	332	100.0	2,049
合 計	5,271	3,820	72.5	212,198	5,278	3,815	72.3	183,357	4,186	2,813	67.2	125,479	5,221	3,737	71.6	190,860

美術館へのアクセス

<JR倉吉駅からのアクセス>

車を利用する場合

- 約10分
- 倉吉パークスクエアに共用駐車場(第1駐車場～第4駐車場)あり
(自家用車用:729台、身障者用:26台、大型バス用:13台)

バス利用する場合

- 倉吉駅バスターミナル2番のりばから【西倉吉、生田車庫、広瀬行き】
のいずれかに乗車
 - ★倉吉パークスクエア経由
→倉吉駅から約12分「倉吉パークスクエア」下車
 - ★倉吉パークスクエア経由以外
→倉吉駅から約9分「倉吉パークスクエア北口」下車

<県外から倉吉までのアクセス>

JR

大阪 → 特急・スーパーはくと(約3時間) → 倉吉
 名古屋 → 新幹線・特急スーパーはくと(約4時間20分) → 倉吉
 岡山 → 特急スーパーいなば(約2時間50分) → 倉吉
 ※鳥取で乗り換え

高速バス

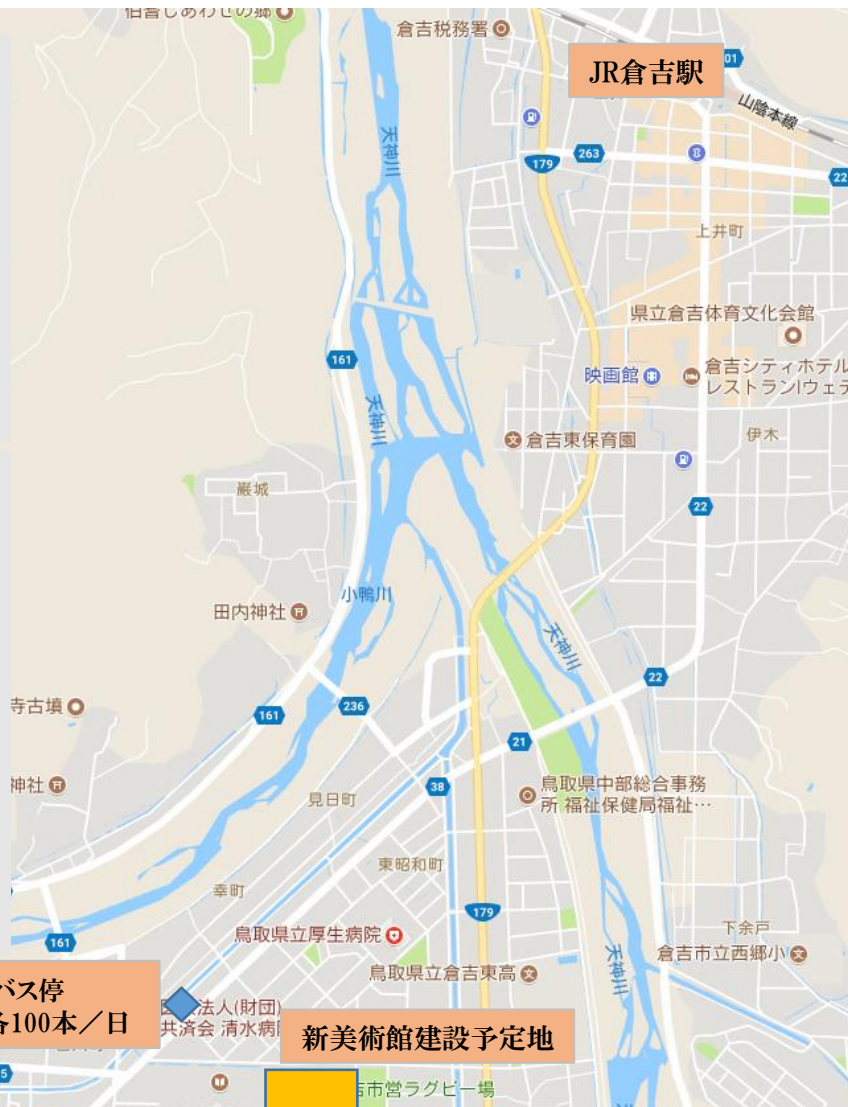
大阪・神戸 → 特急バス(約3時間30分) → 倉吉
 広島 → 特急バス(約4時間) 倉吉

自家用車

大阪 → 中国自動車道・米子道・湯原IC・R313経由(約3時間3分) → 倉吉
 岡山 → 岡山道・中国自動車道・米子道・湯原IC・R313経由(約2時間) → 倉吉

飛行機

東京 → 鳥取空港経由(約2時間) → 倉吉
 東京 → 米子空港経由(約2時間30分) → 倉吉



倉吉パークスクエア北口バス停
倉吉駅から約9分 上り・下り 各100本/日

新美術館建設予定地

倉吉パークスクエアバス停
倉吉駅から約12分 上り・下り 各15本/日

合同庁舎前バス停
倉吉駅から約10分 上り・下り 各15本/日

出典:鳥取県立博物館資料

観光に係る情報

鳥取県の観光入込客数(延べ人数)(単位:千人、%)

区分	観光入込客数		対前年比		平成29年 構成比
	平成29年	平成28年	増減数	率	
県外観光客	13,998	14,252	▲254	▲1.8	64.0
県内観光客	4,918	5,112	▲194	▲3.8	36.0
合計	18,916	19,364	▲448	▲2.3	100.0

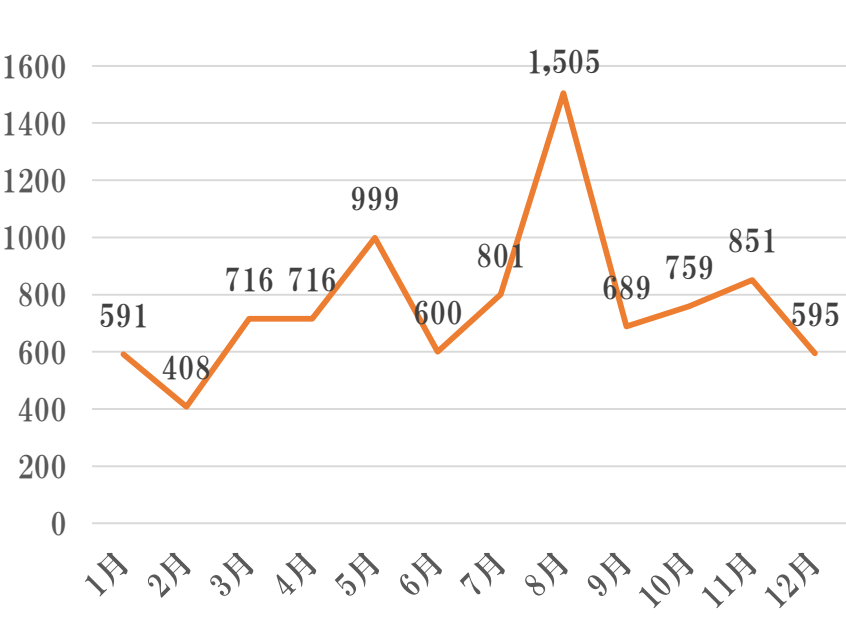
鳥取県の観光入込客数(実人数)(単位:千人、%)

区分	観光入込客数		対前年比		平成29年 構成比
	平成29年	平成28年	増減数	率	
県外観光客	5,907	6,449	▲542	▲8.4	74.0
県内観光客	3,323	3,678	▲355	▲9.7	26.0
合計	9,230	10,127	▲897	▲8.9	100.0

地域別観光入込客数(実人数)(単位:千人、%)

広域エリア名	観光入込客数	
	平成29年	平成28年
鳥取砂丘・いなば温泉郷周辺	2,632	2,877
浦富海岸・岩井温泉周辺	449	458
八頭周辺	323	360
とっとり梨の花温泉郷周辺	1,265	1,349
東伯耆周辺	592	616
米子・皆生温泉周辺	1,095	1,230
境港周辺	1,552	1,732
大山周辺	1,152	1,317
奥日野周辺	170	188
合計	9,230	10,127

鳥取県の月別観光入込客数(実人数)(単位:千人、%)



出典:鳥取県観光客入込動態調査

(参考)文化芸術の鑑賞に関する統計

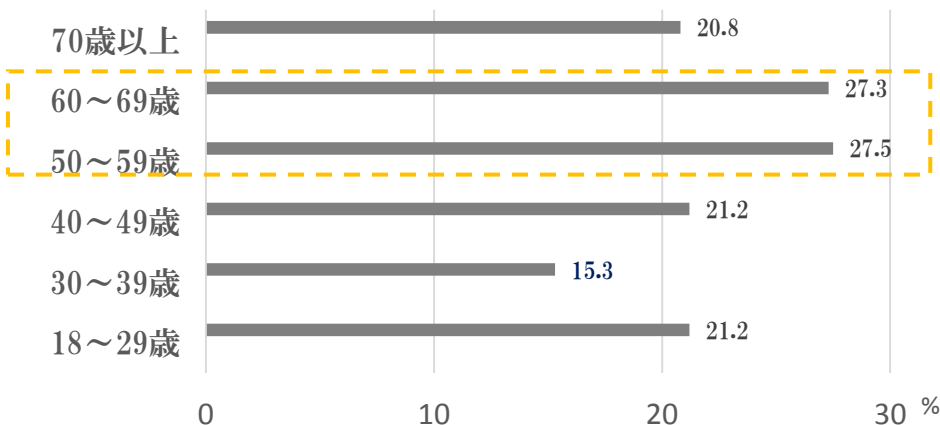
文化芸術の鑑賞活動

<文化芸術の直接鑑賞経験>

質問: この1年間に、ホール・劇場、映画館、美術館・博物館などで文化芸術を直接鑑賞したことはあるか

	該当者数 人	鑑賞あり %	映画(アニメ以外) %	音楽 %	美術 %	歴史的な建物や遺跡 %	アニメ映画等のメディアアー %	演劇 %	舞踊 %	芸能(講談、落語等) %	伝統芸能 %	その他 %	鑑賞なし %	わからない %	計(M.T.) %
総数	1,831	59.2	31.1	24.8	22.5	18.4	8.7	8.5	4.6	4	3.9	0.3	40.6	0.2	167.4
〔性〕															
男性	865	54.6	29.1	19.5	17.2	20.1	9.2	5.5	2	4.2	2.3	0.2	45.3	0.1	154.9
女性	966	63.4	32.8	29.5	27.2	16.8	8.3	11.1	6.9	3.8	5.3	0.3	36.4	0.2	178.7
〔年齢〕															
18～29歳	170	74.1	53.5	25.3	21.2	18.8	28.8	8.8	2.4	1.2	1.8	-	25.9	-	187.6
30～39歳	229	67.2	39.7	23.1	15.3	21	21	10.5	3.1	2.6	2.6	1.3	32.8	-	172.9
40～49歳	326	63.8	37.7	26.1	21.2	18.7	9.2	8	2.5	2.1	2.5	0.3	36.2	-	164.4
50～59歳	273	65.9	39.9	25.6	27.5	22	5.1	11.7	4	6.6	4.4	-	34.1	-	181
60～69歳	366	55.7	26	24.6	27.3	20.2	3.6	6.6	4.6	4.9	4.1	-	43.7	0.5	166.1
70歳以上	467	45.4	12.8	24.2	20.8	13.1	1.3	7.3	7.9	4.7	5.8	0.2	54.4	0.2	152.7

<美術に関する直接鑑賞経験>



- 世論調査によると、**年間約2割弱**の人が毎年美術館等の施設を直接訪れている。
- **女性の約3割**が毎年美術館等を訪問している。
- 年齢別では、**50～69歳以下の訪問割合が高い**。
- **30～39歳以下の割合が低い**

出典:内閣府「文化に関する世論調査」

5. 鳥取県立美術館(仮称)に係る財務情報

鳥取県立博物館の決算情報

(単位:千円)

(費目名)	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
事業名				
企画展開催費	76,094	84,411	87,789	85,048
博物館運営費	101,379	115,822	305,275	97,874
自然事業費	21,686	12,214	12,725	11,859
人文事業費	22,512	22,359	21,432	23,666
美術事業費	14,759	12,955	17,194	16,892
博物館普及事業費	7,757	6,351	7,387	8,264
博物館交流事業	1,617	1,363	1,215	1,158
収蔵資料管理事業	5,822	4,725	5,172	5,059
(臨) 第10次郷土視覚定点資料収蔵事業	-	-	-	-
(新) デジタルミュージアム推進事業	939	-	-	-
(新) 今後の博物館のあり方検討事業	1,551	-	-	-
(新) 鳥取藩絵師粉本類修復事業	-	1,911	1,937	1,700
鳥取県美術品取得基金買戻金	-	-	28,890	9,489
(新) 美術館整備基本構想策定事業	-	6,164	9,310	-
美術館・博物館等ネットワーク強化推進事業				182
鳥取県立美術館整備推進事業				21,859
小計	254,116	268,275	498,326	283,050
鳥取県美術品取得基金買戻費	24,172	-	-	-
合計	278,288	268,275	498,326	283,050

(注) 当該決算情報には職員人件費は含まれていない。

出典:「鳥取県立博物館年報」(年次刊行物)

美術館の運営に関する情報

支出面における比較

(単位:千円)

支出項目	(鳥取県立美術館整備基本構想)		平成26年度 支出額		平成27年度 支出額	平成28年度 支出額
	試算額	試算の考え方	県博全体	うち 美術部門	美術部門	美術部門
職員人件費	89,000	・職員数 現状8名(課長1、美術担当6、総務担当1) ⇒12名(4名増) (増員:館長1、総務担当1、普及担当1、企画展担当1)	176,470	59,104	52,110	52,527
施設管理費	86,000～ 113,000	・現博物館運営費@9,200円/㎡×新美術館12,240㎡ ・規模を9,190㎡に圧縮する場合 86百万円程度	88,654	88,654	102,967	89,167
企画展覧会運営費	76,000～ 107,000	・企画展覧会開催数 現状3回⇒7回(2.3倍) ・回数を5回と抑制的に見込む場合76百万円程度	76,094	45,676	50,852	55,764
常設展示運営費	16,000～ 20,000	・現博物館常設展示室500㎡⇒1,250㎡(2.5倍) ・規模を1,000㎡に圧縮する場合16百万円程度	16,169	8,000	7,766	8,530
教育普及事業	21,000	・ワークショップの充実、ファミリープログラム等の新規 取組及び県内在住児童の来館へのバス代助成	7,757	3,800	5,367	6,238
調査研究事業費	15,000	・美術担当(課長を含む) 7名⇒9名(1.3倍)	57,533	12,000	12,461	14,402
美術品購入費	25,000		24,172	24,172		28,890
計	328,000～ 389,000		446,848	241,406	231,523	253,518

美術館の整備費用及び利用見込み者数に関する情報

整備費用の試算

項目	試算額	参考：基本構想における試算
建築工事費	77億円	60億円～100億円
その他経費	20億円	—

(注)建築工事費の試算根拠等：過去20年間に整備された他の県立美術館(床面積が概ね10,000㎡程度のもの)を参考に、平成30年度価格へのデフレーター補正を行って算出した㎡単価を想定床面積に乗じたもの

美術館における利用見込みの試算

内容	利用見込み	
美術鑑賞を目的とした利用	年間	64,000人程度
教育普及等に係る取組みに伴う利用	年間	9,000人程度
県民連携等に係る取組みに伴う利用	年間	28,000人程度

出典：『鳥取県立美術館整備基本計画』